春の火災予防運動

平成26年3月1日(土)～3月7日(金)までの7日間

全国統一防火標語

この時季は、火災が発生しやすい気候となることから、火災予防思想の一層の普及を図り、火災発生を防止することを目的として、この運動が全国的に展開されます。

平成25年の東近江行政組合消防本部管内の火災発生件数は、合計95件でした。火災の少なかった平成24年から一転して40件の増加です。建物火災は、24件から47件と倍増しました。

火災による死者は、逃げ遅れによる1名、放火自殺1名でした。

平成25年の火災発生状況　出火原因ワースト3

放火・放火の疑い　13件

たばこ　11件

たき火　9件

火災発生状況

区分		平成25年	平成24年	増減
火災件数	建物火災	47	24	23
	林野火災	5	1	4
	車両火災	14	12	2
	船舶火災	1	1	0
	その他火災	28	17	11
	合計	95	55	40
死傷者	死者	2	1	1
	負傷者	26	8	18

昨年、他府県の花火大会で露店から火災が発生しました。楽しいイベントから火災を出さないためにも下記の事柄に注意しましょう！

露店における火災予防のチェックポイント

★こんろは

□周囲には可燃物や危険物を置かない
□点火するときは燃料漏れがないことを確認する
□ゴム製ホースはプロパンガス専用で劣化していないものを使用する。
□ゴム製ホースの接続部はホースバンド等で確実に締める

★ガスボンベは

□直射日光や火気の近くを避ける等ボンベを40℃以下に保つ
□倒れないように固定する
□必要最小限の量とする

★その他

□電気コードはたこ足配線にせず電気機器の許容電流を守る
□消火器を準備する

ガソリン取扱いの注意事項

貯蔵するとき

- 金属製容器でキャップをしっかりと閉める
- 火気のある場所や高温な場所を避ける
- 直射日光の当たらない風通しのよい場所を選ぶ

給油するとき

- エンジンを止めて
- 風通しのよい場所で
- キャップを開ける前に圧力弁等で圧力を抜く
- 周囲に火気や火花がないところで

噴出注意

★周囲の安全を確認
★フタを開ける前に
①エンジン停止
②エア抜きをする
★高温の場所禁止

東近江行政組合消防本部
☎0748-22-7600

近江八幡消防署 ☎0748-33-5119
八日市消防署 ☎0748-22-7610
東消防出張所 ☎0748-29-0111
日野消防署 ☎0748-52-0119
南消防出張所 ☎0748-55-0119
能登川消防署 ☎0748-42-0119
愛知消防署 ☎0749-45-4119
愛東出張所 ☎0749-46-0119
愛知川出張所 ☎0749-49-4599

スマートフォンによる119番への誤発信が増えています

いま一度ご確認ください

携帯電話からも119番通報ができることはご存知と思いますが、携帯電話（主にスマートフォン）からの意図しない緊急通報が多発しています。消防本部の指令台で着信したときに、物音はしても応答がない通報で、確認のため消防本部から掛け直すと、「電話していませんけど…」と本人が気付いていないことがほとんどです。

この原因については、以下のことが判明していますので、ご確認をお願いします。

1. **対象となるのは発売されているスマートフォンの一部の機種であること。**（※）
2. **各ユーザーの設定により、パスコード等のロック機能を使用していること。**
3. **ロック画面にある緊急通報の表示に意図せずに触れて発信されていること。**

※該当機種については、既にメーカー等による機能改善が実施されていますが、機能改善以前に販売されたものについては、ユーザーによるアップデート（更新作業）が必要です。

●該当機種であるか及びアップデート済かどうかのチェック方法は、以下のとおりです。

パスコードや指認証などロック機能を使用している

→ はい → ロック画面内にある「緊急通報」という画面表示を押して下さい。

→ いいえ → 通常の使用で誤発信されることはありません。

→ はい → 押下後、下図のような表示になり、「*（アスタリスク）」の下にある「人型（点線囲い）」のボタン表示はありますか?（スマートフォンによって表示形態は異なります）

→ はい → 「人型」を押して下さい。

→ いいえ → 通常の使用で誤発信されることはありません。

→ はい → 下図のような表示がされるようであれば**アップデート**をお願いします。表示がされなければ該当機種でないかアップデートが完了しています。

アップデート方法が判らない方は、各携帯電話会社にお問い合わせください。

今後も、119番の適正利用にご協力をお願いします。

病院などお問い合わせは、**「医療情報案内」0748-23-3799** 若しくは **0749-45-3799** をご利用ください。

管内での火災等の発生状況については、**「消防情報案内」0748-23-5599** 又は **「消防情報メール※ https://service.sugumail.com/eastomi」** をご利用下さい

※事前登録が必要です。

住宅用火災警報器取り付けたそのあとに

点検の方法 【正常に作動するか、月に1回点検しましょう。】

■お手入れをしましょう

警報器にホコリが付くと火災を感知しにくくなります。汚れが目立ったら、乾いた布でふき取りましょう。特に、台所に取り付けた警報器は、油や煙などにより汚れがつくことがあります。布に水やせっけん水を浸し、十分絞ってから汚れをふき取ってください。

例

テストボタンを押す

■テストをしましょう

テストは、ボタンを押したり、ひもがついているタイプのものは、ひもを引いて行えます。詳しくは製品の取扱説明書をご覧ください。

●音が鳴らない…次のことを確認しましょう。

- 電池はきちんとセットされていますか?
- 電池切れではありませんか?
- それでも鳴らない場合は、故障が考えられます。 取扱説明書をご確認ください。

煙霧式の殺虫剤を使用する際は…

警報器を取り外すか、ビニール袋で覆ってください。その際は、火災予防に万全を期すとともに、殺虫剤使用後は必ず警報器を元の状態に戻してください。

交換の時期と廃棄方法

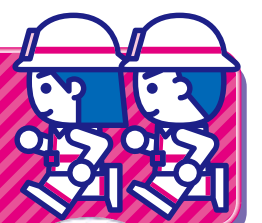
■電池切れかな?

電池切れの時には音声でお知らせするか、ピッ…ピッ…と短い音が一定の間隔で鳴りますので、新しい電池に交換してください。

■警報器本体の寿命は…

警報器本体の寿命は、おおむね10年です。設置後10年が経過したら新しい警報器に交換してください。

廃棄する場合はお住まいの地域のルールに従って適正に廃棄してください。

救急車の適正利用にご協力をお願いします!!

救急件数は年々増加し、昨年は東近江消防本部管内でも1万件を突破しました。この状況は、約25人に1人が救急車を利用していることになります。搬送された傷病者の約半数は、入院を必要としない軽症でした。

救急の増加に伴い、重複発生頻度も高くなり、救急車の平均到着時間が遅くなりつつあります。

救急の重複発生時等で、救急車の到着が遅くなる場合に、救急消防隊として消防車が出動する場合があります。

これは、救急車が到着するまでの間、応急処置を行うことを目的としています。救急車を呼んだのに消防車が来たと驚かれないよう、ご理解をお願いします。

救急車や救急医療は限りある資源です。

本当に救急車が必要な方に、救急医療が提供できるようにご理解とご協力をお願いします。